



天城小だより

令和7年7月22日

校長 加藤 有紀子

どうするかを考えれば
失敗したって大丈夫！



大変気温の高い日が続いています。1年生のアサガオも、2年生のミニトマトも、お昼には元気もなくなります。「夏日」「真夏日」「猛暑日」最近では「酷暑日」という言葉も。

1学期が終わります。73日間の学校生活でしたが、子供たちにとっては、入学や新しい学年、新しい担任との出会い等、大きな変化を体験した日々でした。保護者の皆様には、様々な面でご理解、ご協力をいただき、教育活動を行うことができました。また、多くの地域の皆様にも、あいさつの声かけや、登下校の見守りなどで、大変お世話になりました。ほんとうにありがとうございました。

職員は、『「学び方」や「考え方」を子供たちに授けるという意識をもって、子供たちと向き合っていこう。失敗があってもそこから学ばばいいので、「転ばぬ先の杖」はなるべく出さないようにしよう』という共通理解のもと、教育活動を進めてきました。職員みんなで小さな出来事も見落とさず、ひとりひとりの頑張りや成長とともに喜ぶことを通して、学校全体の課題でもある、子供たちの自己肯定感や自己有用感を高める手だての1つとしてきました。基礎学力の定着は当然学校の使命だと思いますが、そのことと同じくらい『「しなやかさ」を身につける』ことも重要な使命です。学校生活を通して子供たちは様々な感情を体験します。うれしいと感じること、楽しいと感じることだけではありません。「いやなこと」「悔しいこと」「悲しいこと」「怒り」「我慢」等もたくさん体験しています。私たち職員が大事にしていることは、まずは共感すること。子供は（大人もそうですが）わかってもらえた安心感で、次のステップを考えることができます。次は何をすべきかは場合によって違いますが、そこを考えることが大事で、私たちはできるだけ答えは子供たちに出してもらうようにしています。（待つ姿勢）このようなことの繰り返しを通して『心のしなやかさ』を育てています。

夏休み、子供たちは家庭で過ごすことになります。私自身もそうでしたが、親は昨日までと違う日常が始まり、自分自身の生活リズムを整えることが大変です。そのような中でも、お子さんと向き合う時間ももち、共感し、「がんばったね。」「素晴らしかったね」「悔しかったね」「わかるよ、その気持ち」などの言葉掛けをしながら、『じゃあどうしようか』と、考えさせる場を作って頂けると幸いです。お子さんと向き合う時間は、長いことが重要ではありません。短くても濃い時間を一緒に過ごすことで、子供の心は満たされます。保護者の皆さんには学校の教育方針をご理解していただき、ご家庭でも同じ考えでお子さんと接していただくことで、夏休みが明けて集団生活に戻ったとき、子供たちのストレス軽減にもつながります。ご協力をお願いいたします。

交通事故や水の事故には十分注意をし、様々な意味で大人も子供も、「充実した素敵な夏休み」となりますように！



裏面もご覧ください

月行事予定

8 月			9 月		
1	金	子供たちが、安全に気をつけて、有意義に夏休みを過ごすことができるよう、家庭、地域での見守りをよろしくお願いします。	1	月	委員会 3,4年,3組発育測定
2	土		2	火	起震車体験
3	日		3	水	4,1,5年プール
4	月		4	木	5,6年発育測定
5	火		5	金	3,2,6年プール
6	水		6	土	
7	木		7	日	
8	金		8	月	
9	土	10月18日(土)の運動会では、今年も敬老席を設ける予定です。より多くの地域の方々に、天城の子供たちが元気に体を動かす姿を、ぜひ見ていただきたいと思います。	9	火	SC
10	日		10	水	3,2,6年プール
11	月		11	木	授業参観 懇談会*5年KDDIスマホケータイ安全教室
12	火		12	金	SSW
13	水		13	土	
14	木		14	日	
15	金		15	月	敬老の日
16	土		16	火	5時間授業(作業事務処理日)
17	日		17	水	新体力テスト
18	月		18	木	5時間授業(作業事務処理日)
19	火	いろいろはっぱ スタンプアート 詳細は8月末号で。	19	金	
20	水		20	土	
21	木		21	日	
22	金		22	月	絵本作家小寺卓矢様来校
23	土		23	火	秋分の日
24	日		24	水	3,2,6年プール
25	月		25	木	
26	火		26	金	
27	水		27	土	
28	木		28	日	
29	金		29	月	5,6年運動会係打合せ SC
30	土		30	火	
31	日				

社会を明るくする運動

7月9日(水)、学区にお住まいの保護司・更生保護女性会の皆様に、あいさつ運動を行っていただきました(右の写真)。朝会では、保護司代表の中島行信様に「社会を明るくする運動」の趣旨を説明していただきました。その後、児童を代表して啓発グッズをいただいた児童会長の荻島千奈さんが、あいさつ運動へのお礼と、自分たちも進んであいさつをして地域を明るくしていこうとする、たいへん立派な決意の言葉を述べました(右の写真)。



↑ 民生委員との懇談会

あいさつについては、6月に行われた「学校運営協議会」や

「民生委員との懇談会」でも話題になりました。より多くの子が、気持ちのよいあいさつできるように、学校・家庭・地域が一体となって、子供たちに関わっていかれたらと思っています。



↑ 学校運営協議会